SHARING TECHNOLOGY

2017年9月期・第４四半期

シェアリングテクノロジー株式会社 決算説明会資料

平成29年11月10日

シェアリングテクノロジー（株） 東証マザーズ：3989

代表取締役 CEO　引字 圭祐

SHARING TECHNOLOGY

1 エグゼクティブ・サマリー P03

2 2017年9月期 決算ハイライト P07

3 中期経営計画 ～2020年9月期・経常利益17億円を目標～ P13

4 APPENDIX P22

SHARING TECHNOLOGY

1 エグゼクティブ・サマリー P03

2017年9月期 決算ハイライト P07

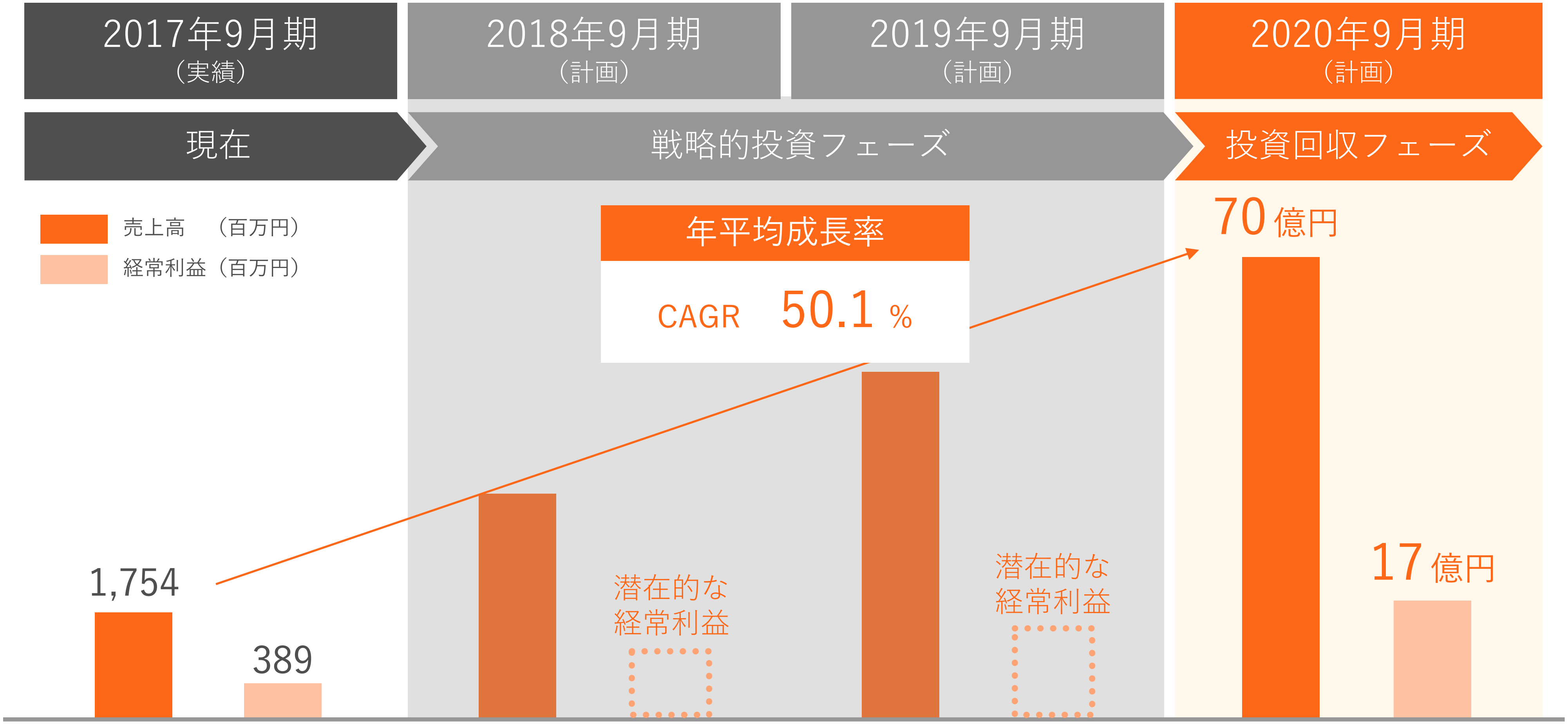
3 中期経営計画 ～2020年9[illegible]期 経常利益17億円を目標～ P13

4 APPENDIX P[illegible]2

堅調な業績	2017年９月期の売上高は **17.5** 億円（対前期比＋54%）に成長。
新たな事業展開	メディア事業の新規サービス領域、 **民泊型ホテル事業、** **アイディアリンク社のM&Aの基本合意等**。
積極的な事業投資	2018年9月期、2019年9月期の2年間については **戦略的投資期間**。2020年9月期には**経常利益17億円**。

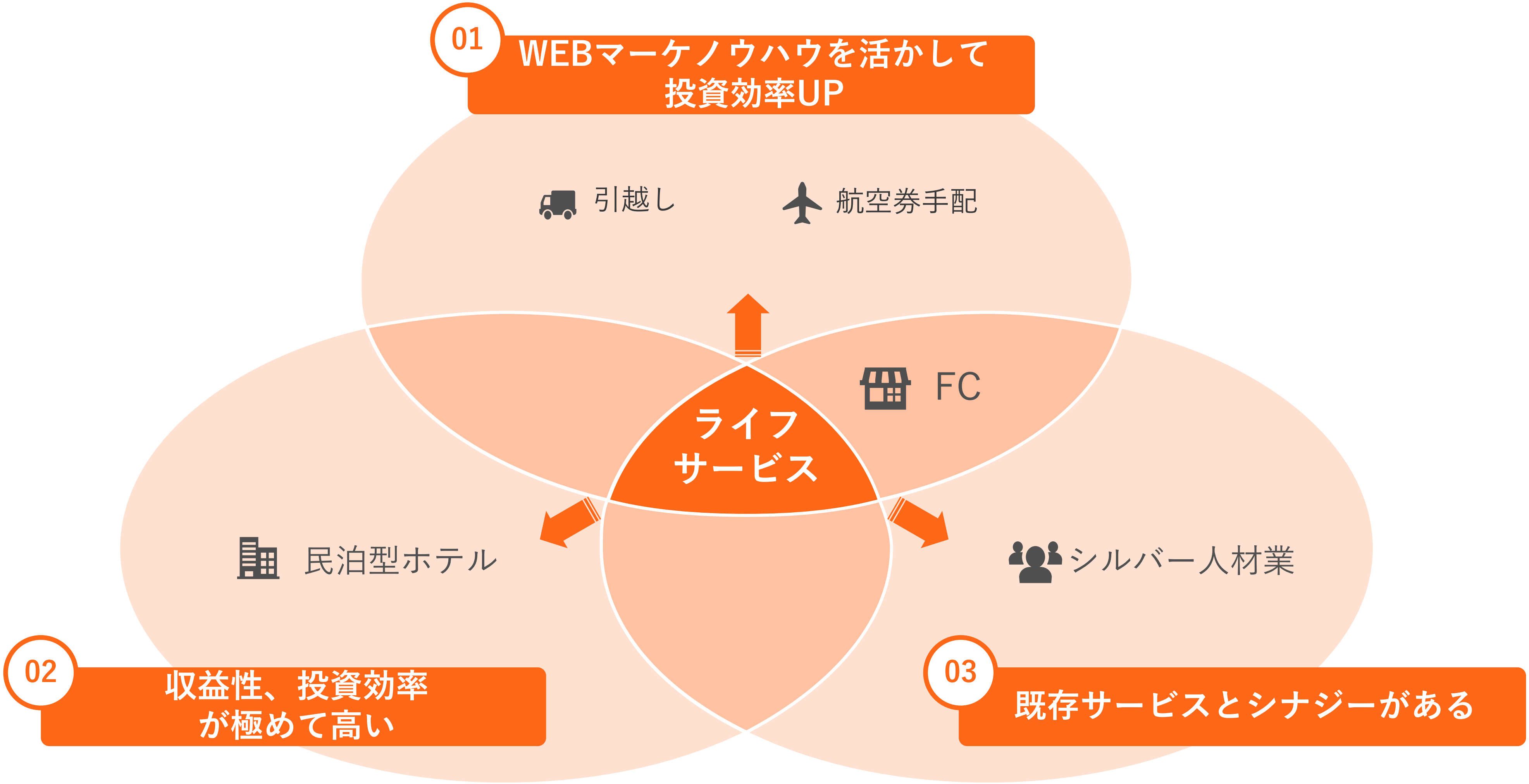
© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

2020年9月期の経常利益 **17 億円以上**を目指す。



© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

投資効率の高さ重視は大前提としながらも、**３つの軸**で事業を拡大。



（※人材派遣業が当社業績に与える影響は現在調査中であるため、中長期予算には含めておりません。）

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

SHARING TECHNOLOGY

1 エグゼクティブ・サマリー P03

2 2017年9月期 決算ハイライト P07

3 中期経営計画 ～2020年9月期 経常利益17億円を目標～ P13

4 APPENDIX P[illegible]2

SHARING TECHNOLOGY

設立以来**過去最高となる売上高、経常利益**を達成。

（単位：百万円）

	前期実績（2016年9月期）	当期実績（2017年9月期）	当期予想（参考）（2017年9月修正後）
売上高	1,141	**1,754** ↑（対前期比＋53.7%）	1,688
営業利益	57	**400** ↑↑（対前期比＋602.8%）	380
経常利益	55	**389** ↑↑（対前期比＋598.7%）	370
当期純利益	21	**268** ↑↑（対前期比＋1,153.4%）	267

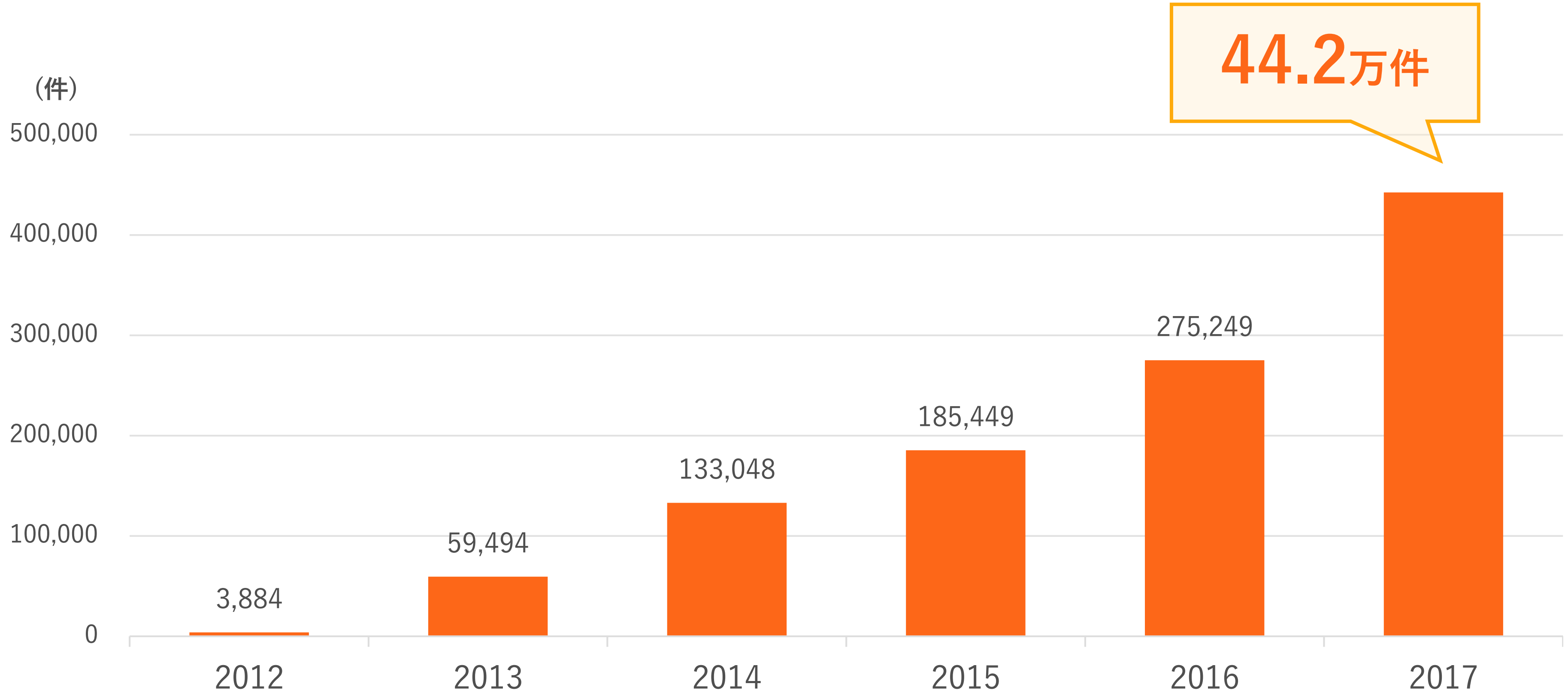
© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

SHARING TECHNOLOGY

当社の売上高は受付数に比例して増加。

2017年、**受付数は44.2万件**（前年同期比60.7%増）と顕著に進捗。

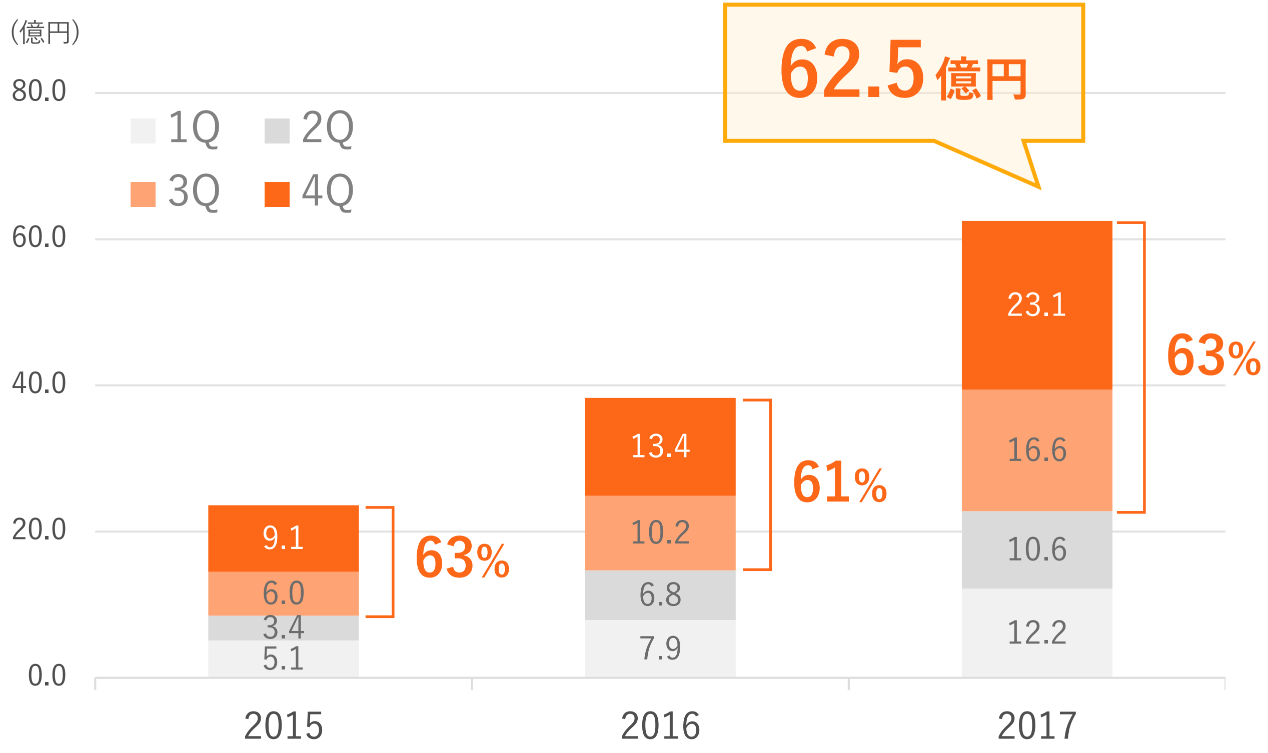
受付数の推移



© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

2017年、**流通総額も62.5億円**（前年同期比63.1%増）と顕著に進捗。

流通総額の推移



2018年の売上高・経常利益の見通し

左記の通り、流通額の**大部分を3Q・4Q に集中する傾向**は来期も同様の見通し。

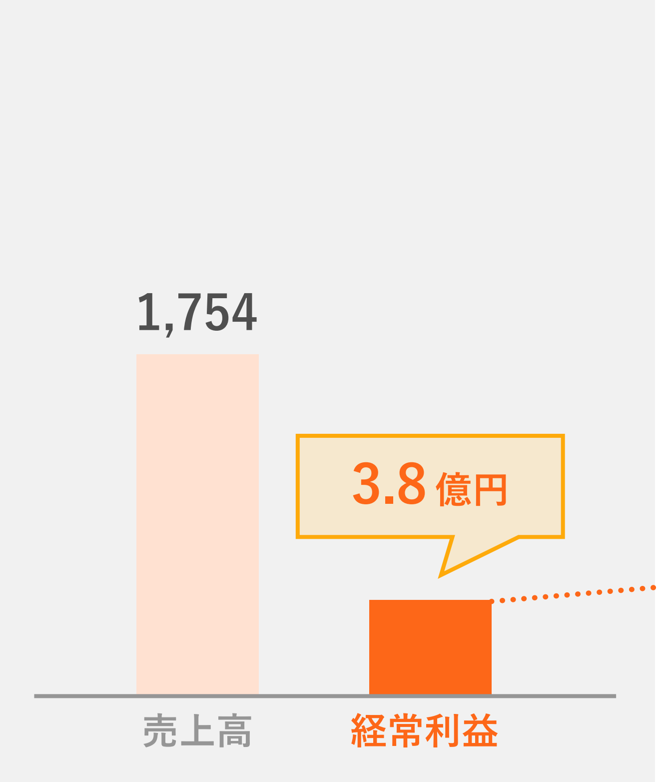
2017年9月期は3Q4Qに大きく投資を行うことで、本来見込める利益を圧迫させ、大きな上方修正を行わず予算通りの利益を計上したが、**2018年9月期は1Q2Qに積極的な投資を行う予定**。そのため、投資スピードによって、1Q2Qは利益が見込めない可能性がある。
但し、3Q4Qは売上・利益が大きく伸びる時期であり、3Q4Qの投資は抑えるため2017年9月期と比較すると、**3Q4Qは利益が大きく伸びる予定**。
通期通して、予算通り利益が見込めるように、1Q2Qに積極的に投資をしていく予定。

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

来期（2018年9月期）の業績予想

高利益率体質の収益モデルは変わらないものの、来期予想は、
戦略的投資を加味し、以下の業績数値を見込む。

2017年9月期（実績）

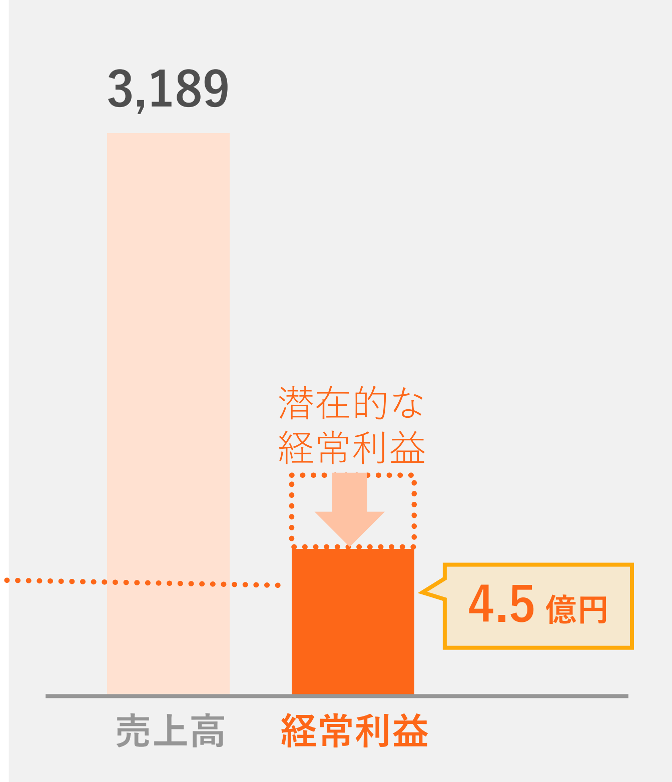


1 年間の戦略的投資、
経営資源強化

約 30 億円以上

現状の
手元現預金
＋
追加の
銀行借入

2018年9月期（計画）



© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

2年間（2018年9月期、2019年9月期）の戦略的投資の背景と内容

当初、段階的に投資する予定であったが、
より企業価値を拡大させるため、2年間を戦略的投資の期間と位置づけ、
積極的な事業投資、経営資源の強化を実施する方針。

投資の主な内容

1	WEB投資	既存事業拡大のためのWEB関連人材等の確保と育成、WEB関連外注費
2	システム投資	既存事業拡大のためのシステム関連人材等の確保と育成、システム関連外注費
3	新規事業投資	民泊型ホテル事業、シルバー人材事業（検討中）、M&A等へ投資

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

SHARING TECHNOLOGY

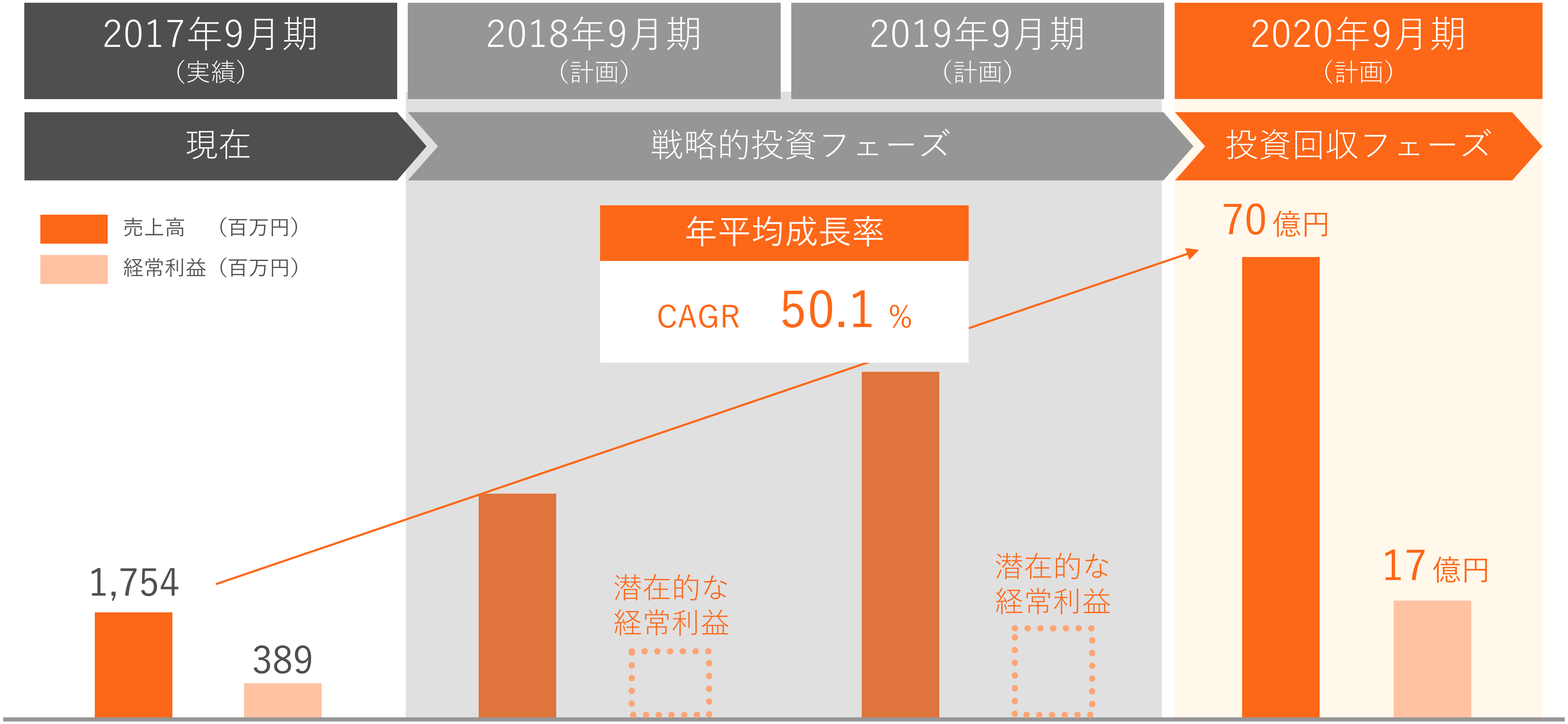
1 エグゼクティブ・サマリー P03

2 2017年9月期決算ハイライト P07

3 中期経営計画 ～積極投資で2020年9月期経常17億円達成へ～ P13

4 APPENDIX

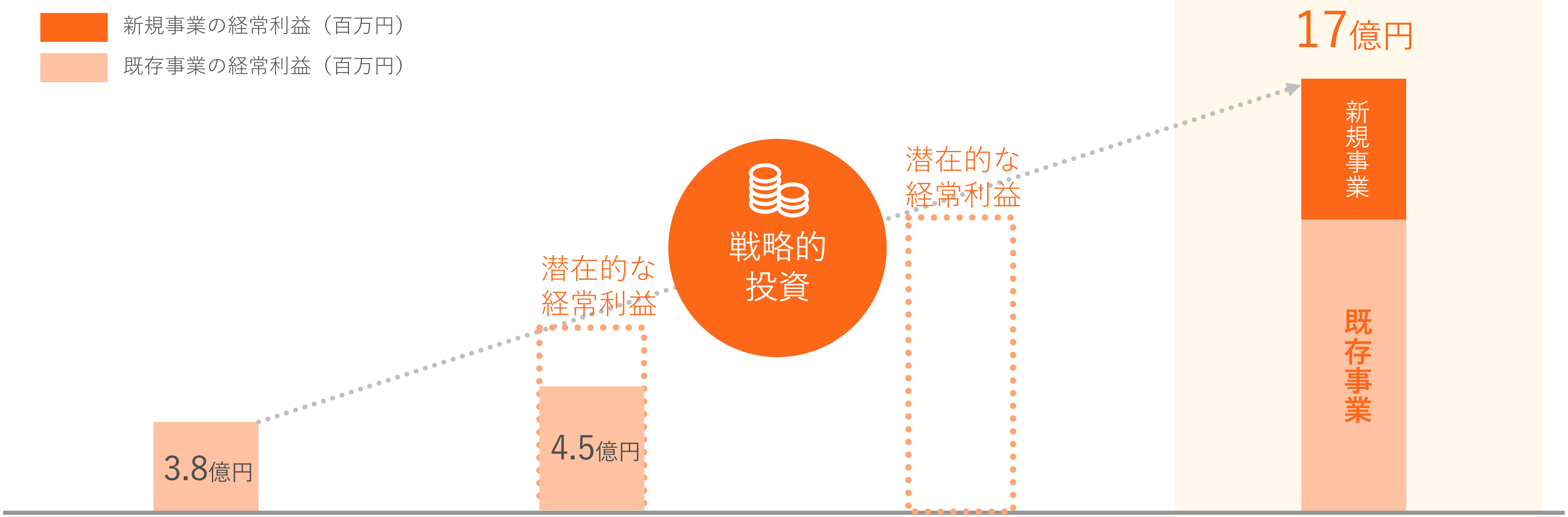
2020年9月期の経常利益 17 億円以上を目指す。



© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

潜在的な経常利益は上昇していくものの戦略的投資、経営資源強化によって、**一時的に表面上の経常利益が圧迫**される。

2017年9月期（実績）	2018年9月期（計画）	2019年9月期（計画）	2020年9月期（計画）
現在	戦略的投資フェーズ		投資回収フェーズ



© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

SHARING TECHNOLOGY

当社の取り組みは以下の3つの視点を重視

01 **WEBノウハウ**を活かして**投資効率UP**

02 **収益性、投資効率**が極めて高い

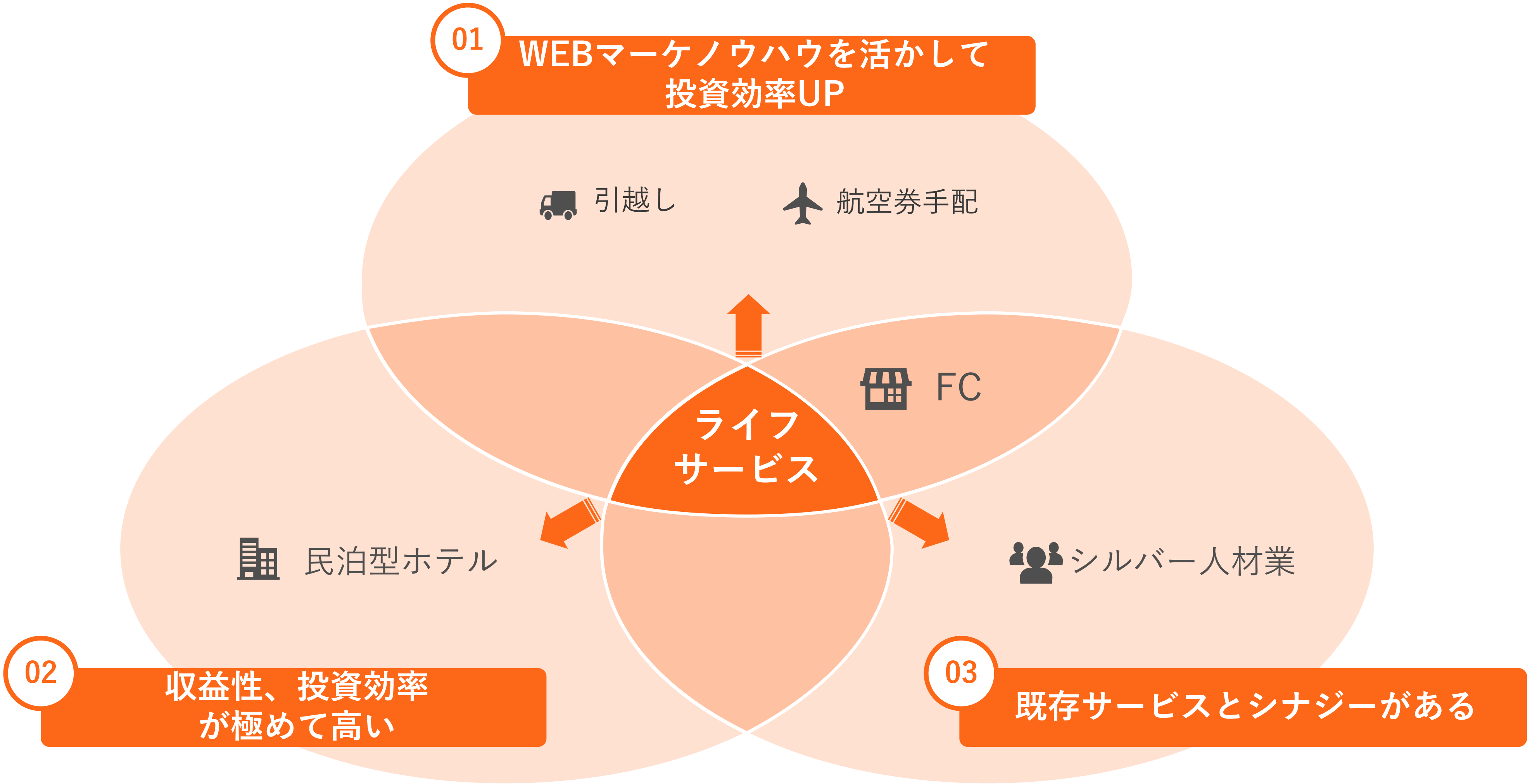
03 既存サービスと**シナジー**がある

上場後の主な取り組み

8月3日	**東証マザーズ及び名証セントレックスへの同時上場**
8月15日	手配旅行サイト開始
9月11日	㈱LIFULL MOVEと業務提携、引越サイトの立ち上げ
9月28日	㈱インベスターズクラウドの子会社㈱Robot Homeと業務提携 生活110番のIoT賃貸住宅提供サービスへの導入
10月19日	㈱鎌倉新書と業務提携 生活110番の葬儀ジャンルを拡大
10月30日	**民泊型ホテル事業開始**
10月31日	㈱6CNSへの出資、AIコールセンターの開発を支援
11月2日	ドローンスクールサイト開設
11月6日	**Idealink㈱の子会社化に向けた基本合意の締結**

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

投資効率の高さ重視は大前提としながらも、３つの軸で事業を拡大。



（※人材派遣業が当社業績に与える影響は現在調査中で
あるため、 中長期予算には含めておりません。）

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

SHARING TECHNOLOGY

①既存メディアの強化

■ バーティカルメディアサイト

漏電修理110番

■ 総合プラットフォームサイト

Life service sharing economy
生活110番

WEB関連人材の強化により、生活110番、
バーティカルメディアを今期末から
徹底的に強化。**コンテンツ強化により、**
トラフィック増加を図る。

②サービス領域の拡充

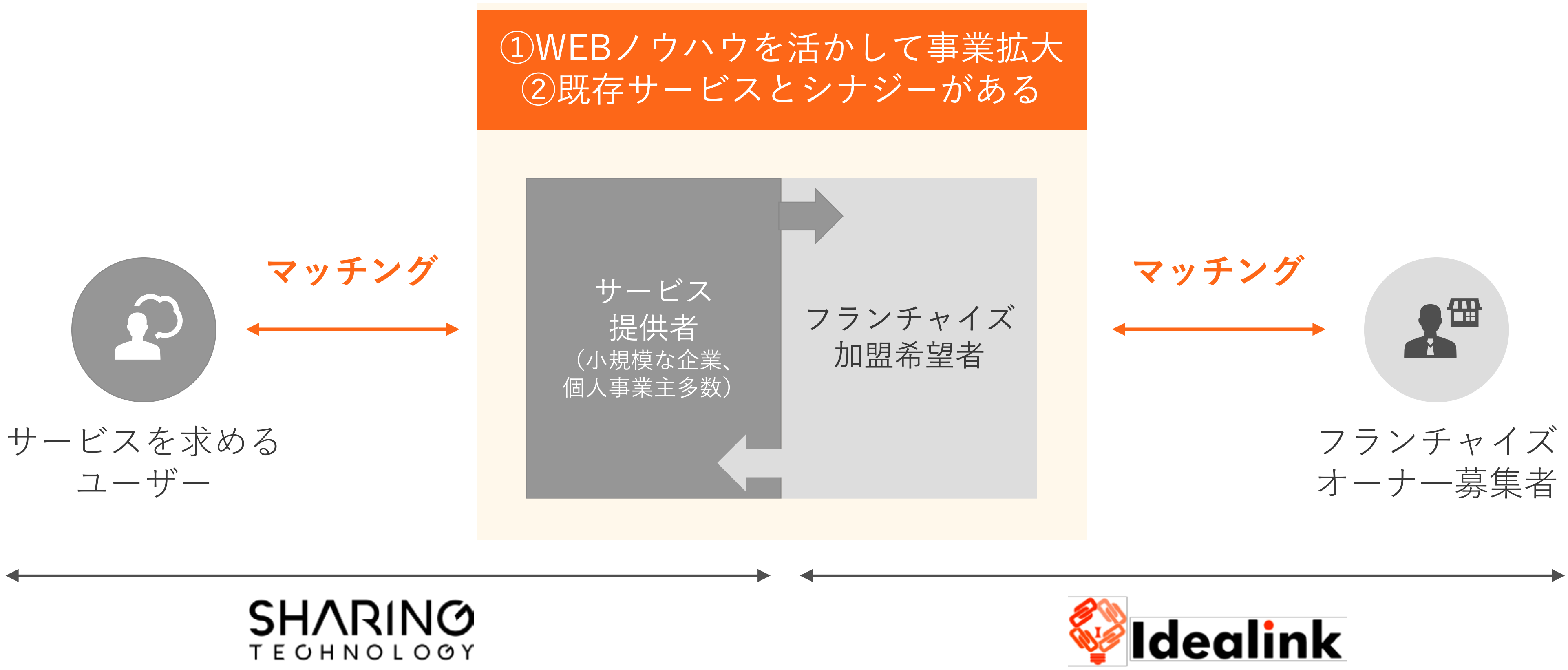
航空券手配サイト、引っ越しサイト等、
既存のライフサービス領域にとらわれず、
社会ニーズの高い、**高投資効率を**
確保できるジャンル、M&Aを次々と発掘。

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

フランチャイズ加盟希望者と募集者を繋ぐ

WEBサイト「フランチャイズの窓口」等の

買収に関する基本合意を締結。



© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

SHARING TECHNOLOGY

民泊型ホテル事業の開始、**シルバー人材事業**の検討。

1	民泊型ホテル事業の開始	初期投資として、マンション賃貸費用、内装費用等が発生するものの、**短期間で、高い投資効率の確保**が可能。
2	シルバー人材事業の検討	将来的に、集めたシルバー人材を当社の**既存ライフサービスジャンル**にも活かすことを検討中。 （※シルバー人材事業が当社業績に与える影響は現在調査中であるため、 中長期予算には含めておりません。）

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

既存の収益モデルを**更なる高利益率体質**とするための取り組み。

コールセンター向けAIの開発を行う株式会社6CNSへ出資を実施

ライフサービスプラットフォーム		AIコールセンター
SHARING TECHNOLOGY	出資 →	6CNS

トップライン（売上高）の伸びに注力しながらも、
更なる効率化に向けた取り組みにも積極的に投資。

【2017年10月31日リリース文】

シェアリングテクノロジー、AI（人工知能）を活用したコールセンターを開発している6CNSへの出資を開始！

シェアリングテクノロジー株式会社　2017年10月31日 16時20分

日本最大級のライフサービスプラットフォームを展開するシェアリングテクノロジー株式会社（本社：名古屋市中区、代表取締役CEO：引字 圭祐、証券コード：3989、以下：当社）は、2017年10月31日の取締役会において、株式会社6CNS（所在地：東京都港区、代表者：代表取締役　平嶋 哲也、以下：6CNS）への出資を決議いたしましたので、お知らせいたします。

■出資の趣旨

様々な分野でAI化が進む中、当社の展開するWEBマーケティングサービスに欠かせないコールセンターについても、近い将来AI化が進んでいくと考えられるため、国内最高峰技術を駆使し、AIを活用したコールセンターの開発や革新的なサービスを提供している6CNSへ出資することとなりました。

AIを活用したコールセンター開発にあたり、当社が蓄積しているビッグデータを学習させることで、開発のスピードアップを図り、AIコールセンターが実現した際の大幅なコスト削減に繋げられると考えています。

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

SHARING TECHNOLOGY

エグゼクティブ・サマリー P03

2017年9月期
決算ハイライト P07

3 中期経営計画
〜積極投資で2020年9月期経常17億円達成へ〜 P13

4 APPENDIX P22

SHARING TECHNOLOGY

基礎情報

- 会社名　シェアリングテクノロジー株式会社
- 設立日　2006年11月24日
- 資本金　11億515万円（資本金及び資本準備金）
- 代表者　代表取締役 CEO 引字 圭祐
- 従業員数　97名（平均年齢：28.7歳）
  （パート・アルバイト除く）
  ※2017年9月末時点
- 所在地　〒460-0002
  愛知県名古屋市中区丸の内3-23-20
  HF桜通ビルディング2F
- 事業領域　・ライフサービス領域に関する「バーティカルメディアサイト」の運営
  ・総合プラットフォームサイト「生活110番」の運営
  ・WEB集客にかかるコンサルティング業務等

企業沿革

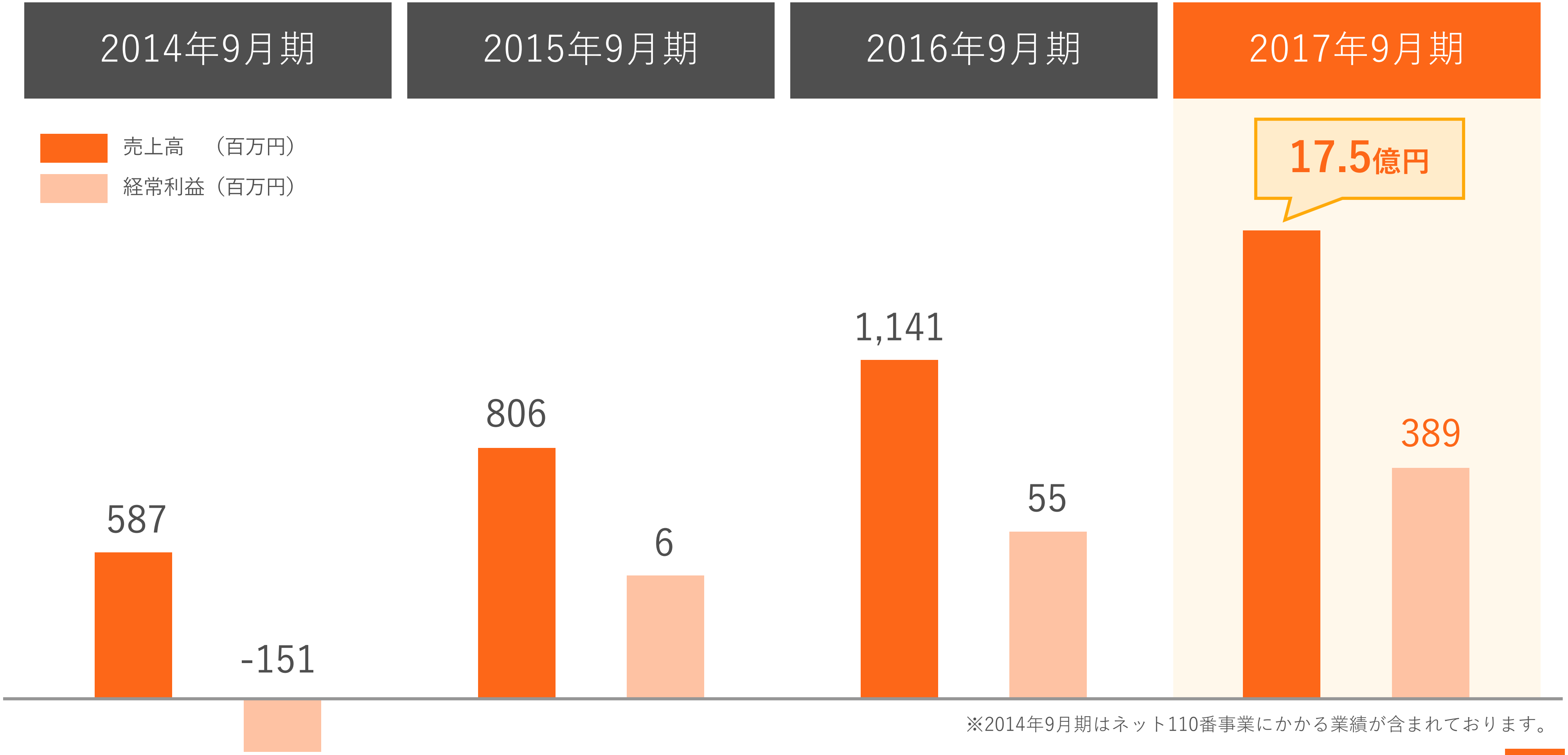
- 2006年11月　株式会社リッツ（現当社）設立
- 2009年7月　「ネット110番」事業を開始
- 2012年4月　ライフサービス領域に関する「WEB事業」を開始
- 2013年12月　「ネット110番事業」を子会社化し売却
- 2015年9月　「シェアリングテクノロジー株式会社」に社名変更
- 2017年8月　東証マザーズ／名証セントレックス市場に上場

2006年　2008年　2010年　2012年　2014年　2016年

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

SHARING TECHNOLOGY

2017年9月期は、売上高、経常利益ともに**着実に成長。**



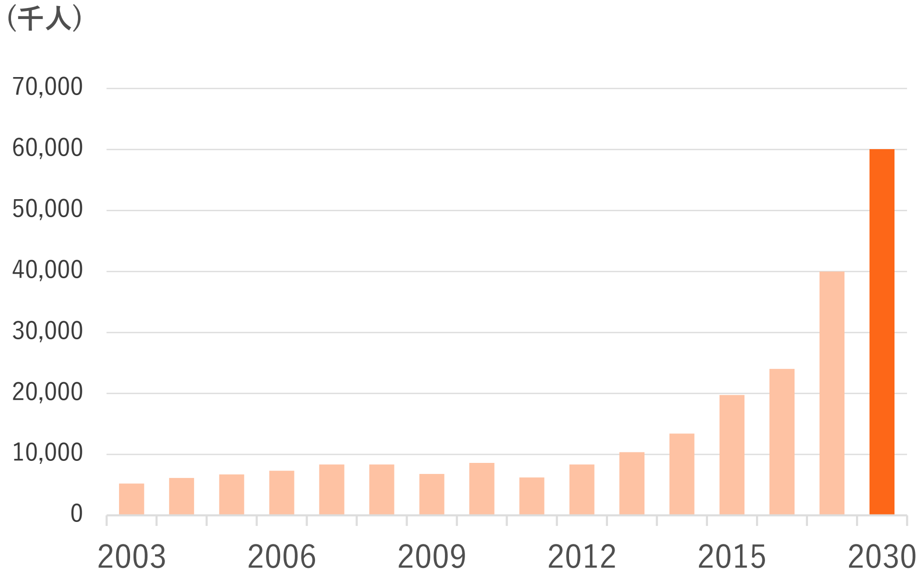
※2014年9月期はネット110番事業にかかる業績が含まれております。

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

2020年の東京オリンピックに向けて、**急激に増加する訪日外国人数**に対し宿泊施設の**供給不足な状態**。

訪日外国人旅行者数の推移

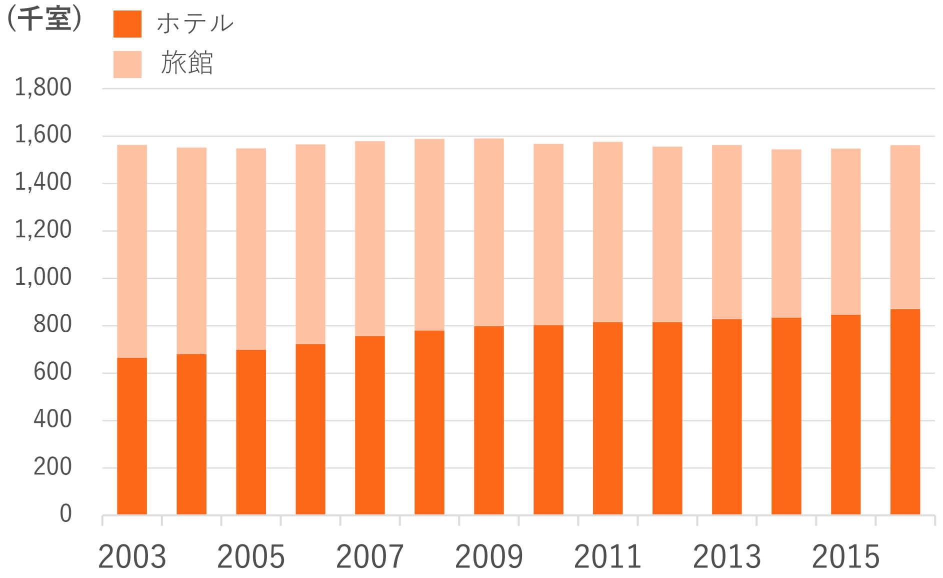
5,21万人（2003年） → **3.6倍** → 2,403万人（2016年）



出典： JNTO「2016年 訪日外国人の消費動向調査」より弊社推計および作成

宿泊施設客室数の推移

156万2,867室（2003年） → **0.07%減** → 156万1,772室（2016年）

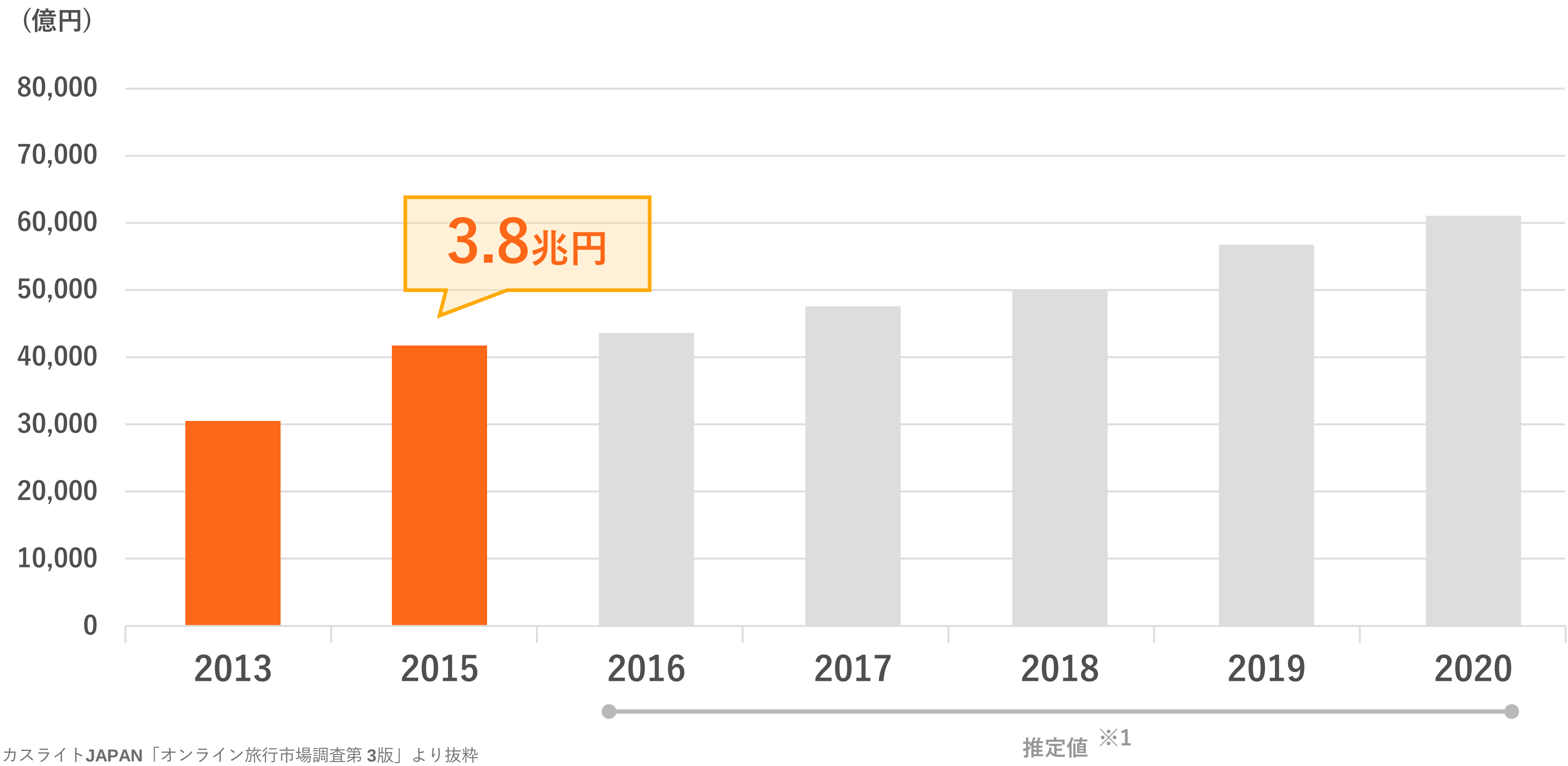


出典：厚生労働省「衛生行政報告例」

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

2015年、国内旅行市場規模模9兆7,033億円に達し、
オンライン市場規模は3兆8,000億円（年平均+15%成長）に拡大。

旅行のオンライン市場規模

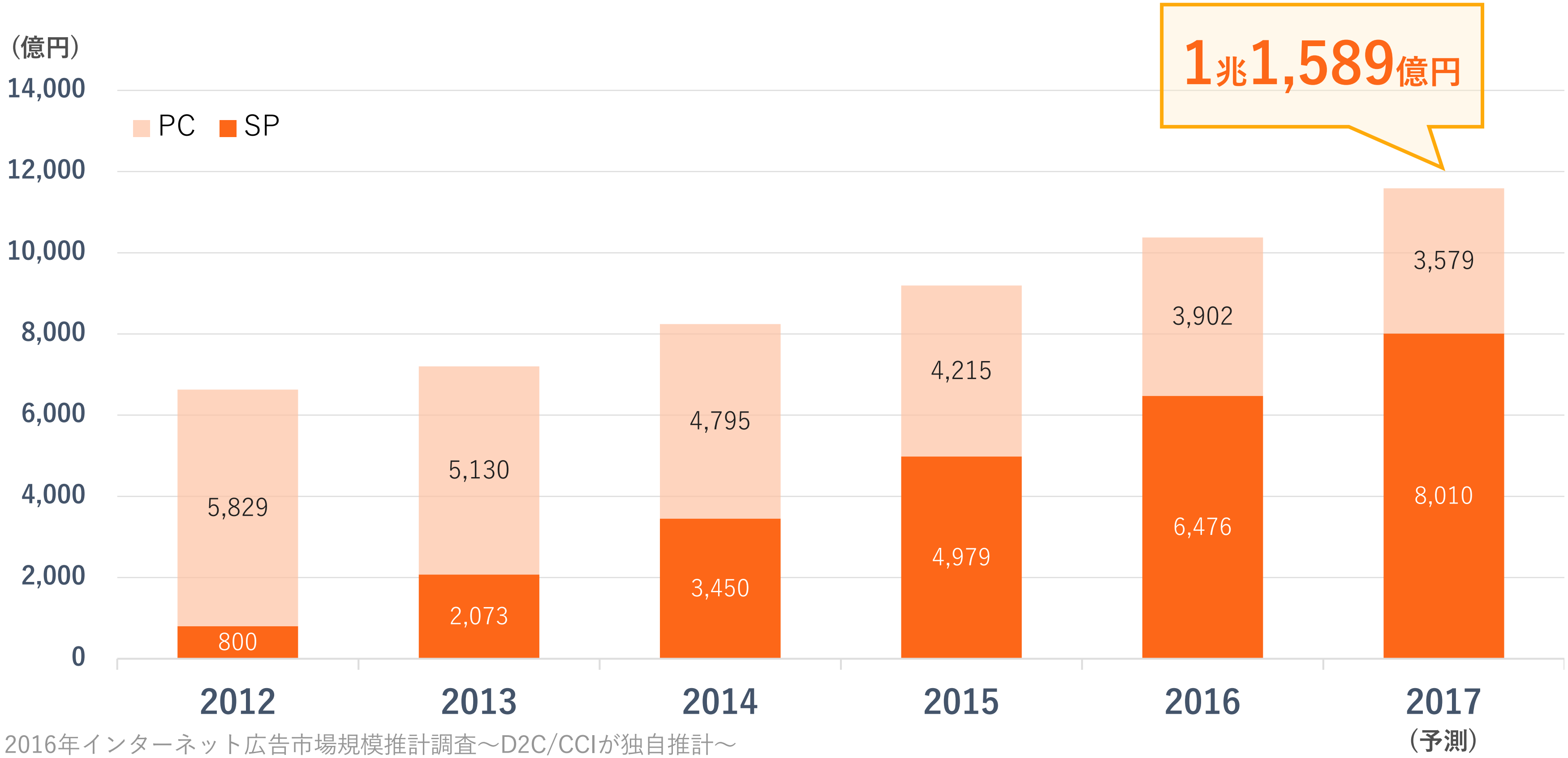


出所：フォーカスライトJAPAN「オンライン旅行市場調査第 3版」より抜粋
*1 ：2016年～2020年のグラフに関しては過去の平均成長率をもとに作成したイメージグラフとなります

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

2017年の市場規模は、**スマートフォン広告費は8,010億円**(前年比124%)、**PC広告費は3,579億円**(前年比92%)と予測される。

SP広告費とPC広告費の市場規模



出所： 2016年インターネット広告市場規模推計調査～D2C/CCIが独自推計～

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

提供するライフサービスジャンルの一覧

平成29年9月末現在において、ライフサービス領域において、

119ジャンル、全193サイトを運営。

7つのカテゴリー

緊急系	リフォーム・ 工事・修理	害虫

住宅周り	一括見積り	通信	その他

サービス詳細（一部抜粋）

- 雨漏り
- ネズミ
- 害鳥（ハト・カラス）
- コウモリ
- ハクビシン
- イタチ
- アナグマ
- アライグマ
- 桐箪笥修理
- ピアノ調律・修理
- 家具修理
- 家具組立・移動
- OA機器修理
- 自動ドア
- 楽器修理
- 屋根
- 水回りリフォーム
- 介護リフォーム
- エレベーター
- iPhone修理
- カギ
- ハチ
- ドアノブ
- 水
- ガラス
- パソコン
- ペット葬儀
- シロアリ
- ゴキブリ
- ダニ・トコジラミ
- 南京虫・ノミ
- etc...

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

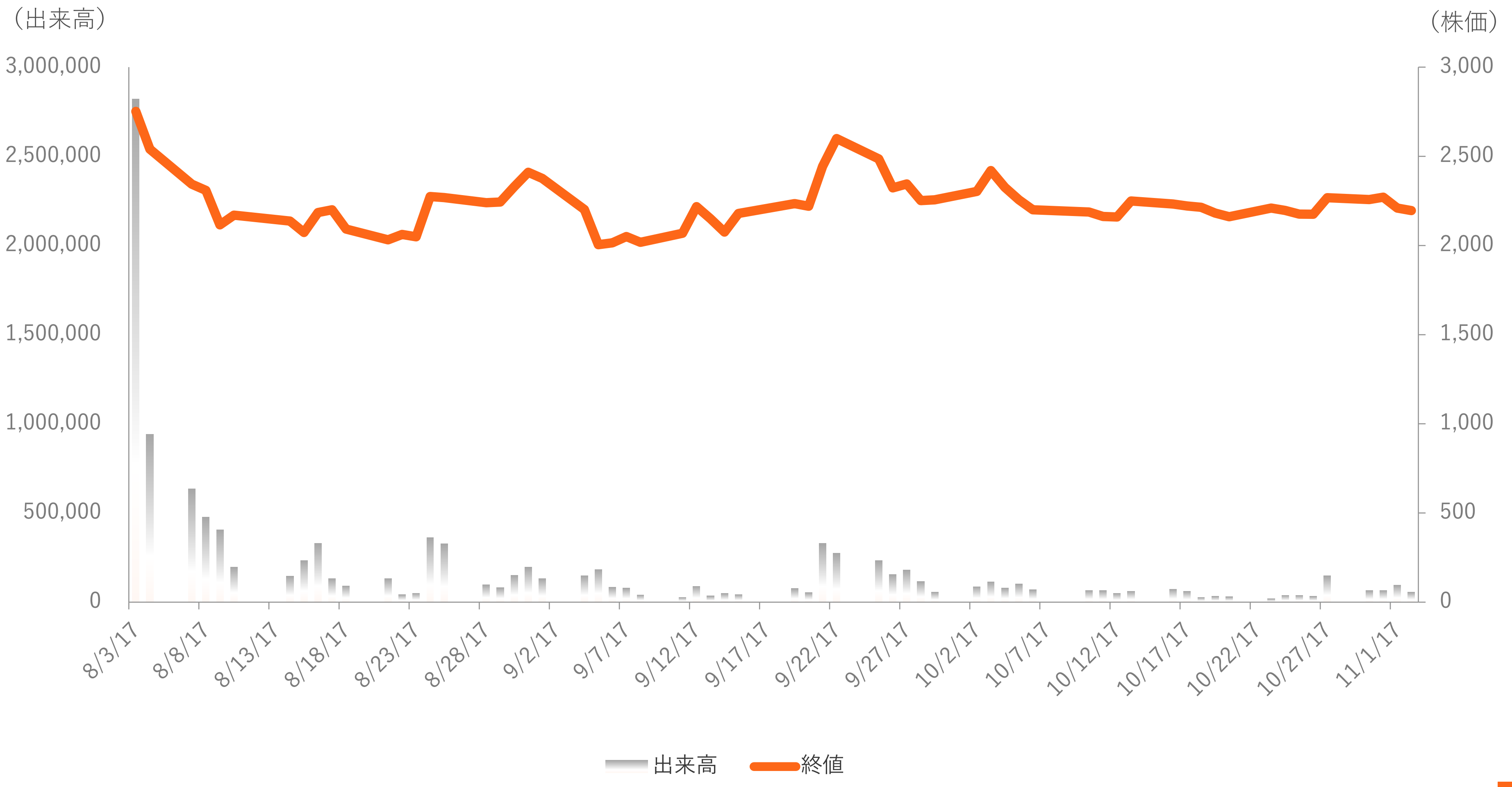
SHARING TECHNOLOGY

複数のバーティカルメディアサイトにおいて、
「ご利用シェアNO.1」の獲得実績。

【調査概要】
- 実査委託先：楽天リサーチ
- 実査方法：インターネットWEB調査
- 実査対象者：全国20～69歳男女

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

株価推移（2017/8/3-2017/11/3）



© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

SHARING TECHNOLOGY

株式数・株主数

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済み株式数	5,801,500株
株主数(議決権あり)	2,462名

上位株主（1位～10位）の状況

2017年9月30日現在

順位	株主氏名又は名称	所有株式数（株）	所有株式数の割合
1	引字 圭祐	2,392,200	41.2%
2	榊原 暢宏	714,200	12.3%
3	綿引 一	714,200	12.3%
4	MSIVC2012投資事業有限責任組合	250,000	4.3%
5	アイビス新成長投資事業組合第３号	164,000	2.8%
6	NOMURA PB NOMINEES LIMT	100,000	1.7%
7	楽天証券株式会社	89,000	1.5%
8	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信用口）	85,200	1.5%
9	株式会社ベクトル	81,900	1.4%
10	株式会社SBI証券	62,200	1.1%

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

シェアリングテクノロジーのミッション

求める人と提供する人を結びつける
マッチングサービスを
高度なテクロノジーで成熟・進化させ、
世の中に貢献して参ります。

©SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

将来見通しに関する注意事項

本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。
また、 将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、 当社が更新や変更の義務を
負うものではありません。 また、本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、
多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、 さまざまな要因の変化等により、
これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

© SHARINGTECHNOLOGY.INC. All Rights Reserved.

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、　その情報の正確性を保証するものではありません。 様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。